

=私たちの活動 4つの柱=

- *制度化と指導員の身分保障
- *専門性と仕事の確立
- *父母と共に学童保育運動の発展
- *全国の指導員との団結と連帯

建交労全国学童保育部会

ニュース学童保育

2020. 9. 8.

NO. 65

全日本建設交運一般労働組合
全国学童保育部会 発行
編集：事務局

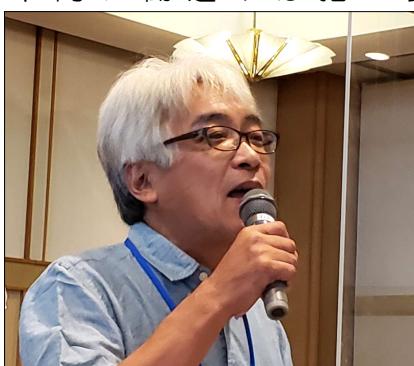


福岡県本部特別代議員の阿部さん。

阿部さん（福岡・学童副部会長）は、4月に指定管理者を変更しました。この間、立嶋部会長は、この間の新型コロナをめぐる動きから、学童保育の課題について発言しました。

安全管理者変更で安全確保されず

「第22回建交労中央本部定期大会」が、8月29日～30日に開催されました。コロナ禍の感染防止の観点から、短縮日程、代議員の人数を絞り、発言の演台には透明シールドを設置するなど万全の対策をとつて開催されました。



全国学童保育部会 特別代議員の立嶋さん。

全国から様々な支援をいただきいたが、指定管理先が変更になった。指導員は金員バイト待遇で、働く仲間にいた。指導員は更になつた。

立嶋部会長は、この間の新型コロナをめぐる動きから、学童保育の課題について発言しました。

子どもへ安心のメッセージを求める

子どもは40人となっているが、子どものための基準ではない。心を受け止められ安心を保障する基準作りが必要だ。



愛知学童保育支部 代議員の市川さん。

遊んでいれば苦情に入るなど。

再開された学校生活は制限ばかりで、子どもは息苦しいよう。学童保育で感染防止はもちろん、子どもへ安心のメッセージを送るように心掛けた。

組合の中で議論してきたことの成果である。

厳しい状況は続くが、セージを送るよう心掛けた。

奈間の団結を高める組合活動をしていきたい。

大会では、福岡支部の坂江さんが2日間にわたり大会議長の大役を務めました。また、機関誌表彰では、学童部会のニュースが審査員特別賞を受賞しました。

子どもへ安心のメッセージを

市川さん（愛知）は、コロナ禍の学童保育の実態と組合活動を発言しました。

学童保育に利用自粛が指示された期間、現場も保護者も大混乱であった。子どもだけで留守番をしているところ、公園で

遊んでいれば苦情に入るなど。

再開された学校生活は制限ばかりで、子どもは息苦しいよう。学童保育で感染防止はもちろん、子どもへ安心のメッセージを送るように心掛けた。組合の中で議論してきたことの成果である。

厳しい状況は続くが、奈間の団結を高める組合活動をしていきたい。



大会議長をつとめた福岡合同支部代議員の坂江さん。